

新刊 ぴっくあっぷ



「悪逆」黒川博行著 新潮社／過払い金マフィア、マルチの親玉、カルトの宗務総長-社会に巣食う悪党が次々と殺害される。警察捜査を巧みに攪乱する男の目的とは-。凶悪な知能犯による強盗殺人を追う王道の警察小説。*Fク



「マンションフォンテューヌ」小路 幸也著 祥伝社／小説家の羽見晃が入居を決めたのは鐘ヶ淵にある築60年の<マンションフォンテューヌ>。ワケありな住人たちとガーデンパーティ中、3号室の三科さんが元DV夫から追われていると知り…。*Fシ



「葬式同窓会」乾カカ著 中央公論新社／7年ぶりに再会した、高校3年6組の元クラスメートたち。それは同窓会ではなく、担任だった先生の葬儀だった。思いがけず再会した皆は、先生が授業中に起こした事件がきっかけで不登校になった男子生徒がいたことを思い出す。*Fイ



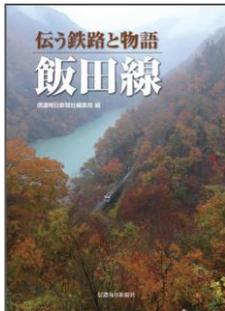
「おあとがよろしいようで」喜多川 泰著 幻冬舎／金も夢も友もない上京したての大学生・暖平は、ひよんなことから落語研究会に入ることに。落語が繋ぐ仲間との出会いが、彼の人生を大きく変えていき…。書き下ろし人生応援小説。*Fキ



「喫茶おじさん」原田ひ香著 小学館／松尾純一郎、57歳。早期退職し、現在無職。妻子はあるが現在は別居中。純喫茶巡りを趣味にしようと、コーヒーとその店の看板の味を楽しみながら各地を巡るが…。*Fハ



「リカバリー・カバヒコ」青山美智子著 光文社／公園の古びたカバの遊具、カバヒコ。カバヒコに触れると、治したいところが回復するという。新築分譲マンション、アドヴァンス・ヒルに住まう人々は、それぞれの悩みをカバヒコに打ち明け…。*Fア



「伝う鉄道と物語 飯田線」信濃毎日新聞社／レールのある日常、行き交うひと・もの・こと…。全線195.7kmの長大ローカル線・飯田線。その過去と現在、そして未来像をルポした30のエピソードを収録する。*N686シ



「地球行商人 味の素グリーンベレー」黒木亮著 中央公論新社／味の素社内で「グリーンベレー」の異名をとる海外市場開拓チームは、いかにして世界の食品市場を攻略してきたのか。フィリピン、ベトナム、中国、ナイジェリアなどでの活動の記録。*588ク



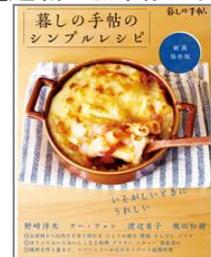
「Link」小平奈緒著 信濃毎日新聞社／信州でスケートの道を追い求め、試練や転機を乗り越えて“頂”へ。そして、人とのつながりの中で深まる想いの数々…。魅力的な言葉を紡いできたアスリートが、これまでの歩みを振り返る。『信濃毎日新聞』連載に加筆修正。*784コ



「自家醸造を楽しむ本 ジンジャーエール・マッコリ・シードルからビール・コンブチャ・テパチエまで発酵ドリンク30種」アドバント・ブルーイング 著 農山漁村文化協会／おいしくて体を整えてくれる、生きたドリンクを手づくりしよう。低アルコールで飲みやすく、小さな台所で作れる30種の発酵ドリンクレシピを紹介する。*596ア



「1週間で絶品干し柿 簡単、無添加、きれいにできる」永田勝也著 農山漁村文化協会／絶品の干し柿をつくってみませんか？ 自然乾燥で30~40日かかるのを、日曜大工程度で自作できる装置を使って、わずか5~7日程度で干し柿を作る方法を解説する。柿霜(干し柿の表面の白粉)の出し方も紹介。*628ナ



「暮しの手帖のシンプルレシピ」暮らしの手帖社／簡単だけど、手抜きじゃない。少ない材料と手順で作る料理から、ほうっておいておいしくなる料理、あると助かる作り置き料理まで、「シンプルだからこそおいしい」レシピを紹介します。*596ク

としよかんだより

【下條村立図書館 167号 2023年11月1日発行】

図書館の周りに植えられているサザンカの花が咲き始めました。夏から冬へ季節が駆け足で移っていきます。さて読書の秋、そのメリットとは？「脳が活性化され、病気の予防になる」「記憶力が高まる」「読解力が高まる」「語彙力が増える」「追体験ができる」「想像力が高まる」等まだまだたくさんあります！あなたも始めてみませんか。

としよかん大好き家族 石引さんご一家

PART132 休戸

週に二回は図書館を訪れる石引さんご一家の登場です。「すぐに読んじゃうから、借りてってあげないと」、そう言いながら日々絵本を選ぶお母さんの梨菜さんは、4年前初めて図書館を利用しました。当時、妊娠中でつわりがひどく、テレビやスマホも見ることができず「本なら読める!」と、図書館で本を借りて読むようになったそうです。

長女の向葵(ひまり)さん(8歳・2年生)は、小学校に入学し、授業で学校図書館の先生から読んでもらった絵本や紙芝居がおもしろくて、本が大好きになりました😊2年生になってからは、1年生のころの倍ぐらい本を借りるようになり、学校図書館の貸出カードはもう3枚目がいっぱいになりそう。

学校図書館では2冊まで借りられますが、「もっともっと読みたくて!」村の図書館にも来るようになりました。人気の絵本『のらねこぐんだん』(工藤ノリコ作)、『パンどろぼう』(柴田ケイコ作)のシリーズは、全部借りて読みました\(^.^)/ある日、図書館の棚を見ていて、童話の『おぼけのアッチ』シリーズ(角野栄子作)を見つけました。借りて読んだら「おもしろくて!」、今どんどん読んでいます(^.^)

長男の洸太(こうた)くん(3歳・年少組)が生まれてからは、忙しくて図書館にはなかなか来られなかった梨菜さん。「子どもたちが小さい頃に、本を読んであげられなかったことを、今本当に後悔しています。読んであげてたら、どんなに良かっただろうって」と話します。

今は毎日のように、向葵さんに絵本を読んであげているのを、下のふたりの男の子も聞き耳を立てているようです。きっとこれから、絵本を持ってきて、「これ読んで!」が始まることでしょう。

洸太くんは、保育園で先生が唄ってくれるわらべうたが大好き。家では、次男の七橙(ななと)くん(10ヵ月)に唄ってあげています。

お母さんのおすすめの本を聞くと、図書館に来始めたころに読んだ本『花咲小路四丁目の聖人』シリーズ(小路幸也著)をととても気に入り、いま2回目を読み返しているそうです。「ハッピーエンドが好き」な梨菜さん、益田ミリさんの本(マンガやエッセイ)も全部読み終わり、「どれを読んでも独特の感性がおもしろくて、他に探してもいない作家。たぶん、今がいちばん本読んでるかな😊」と話してくれました。

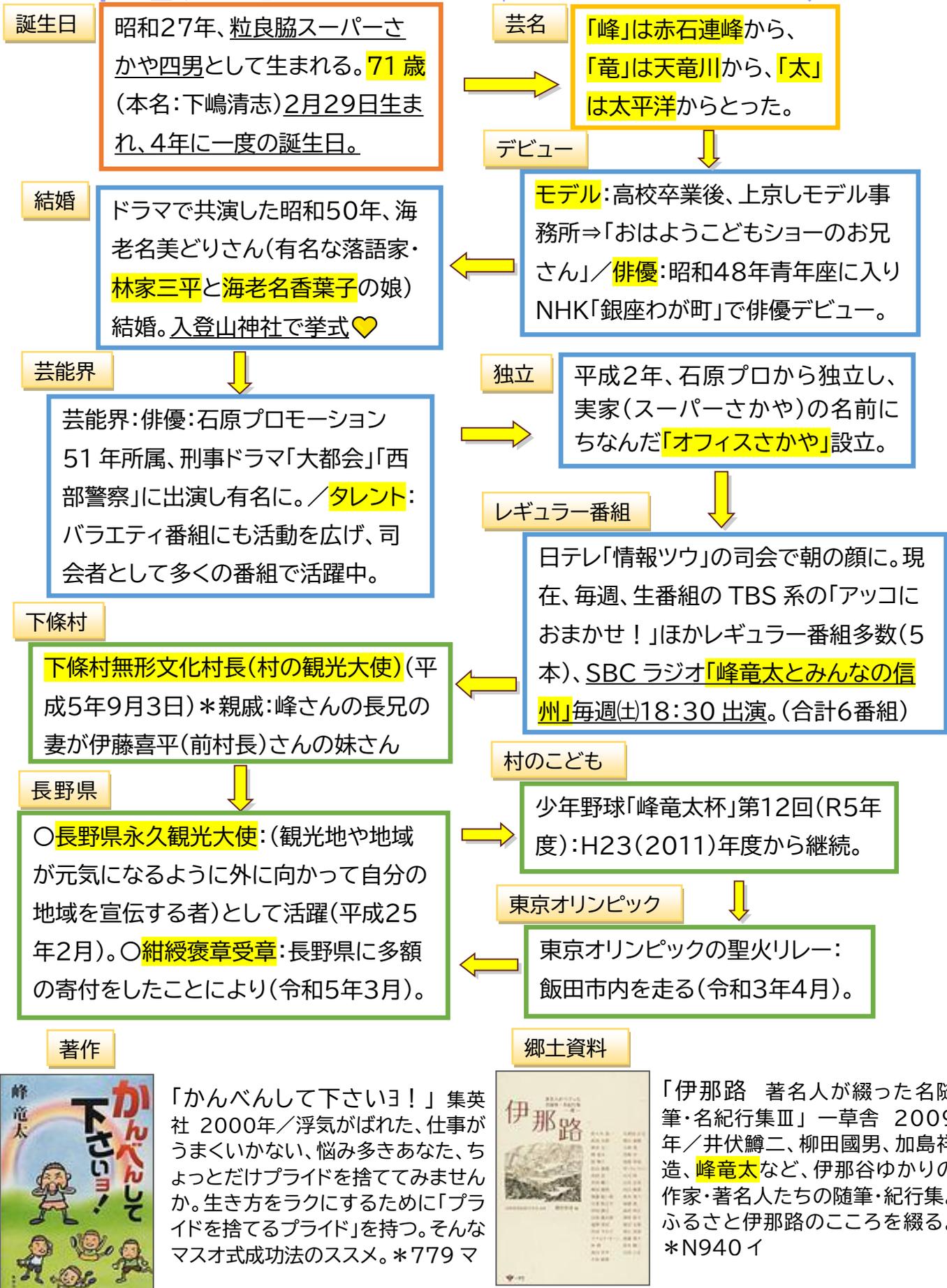


【もくじ】

- 1p:としよかん大好き家族
- 2p:村の偉人②峰竜太
- 3p:読書月間のお知らせ
- 4p:新刊ぴっくあっぷ

特集「下條村の偉人」②

峰竜太さんのこと、知っていますか？



*図書館所蔵「峰竜太関係つづり」「峰竜太プロフィール資料」(ファイル資料)より



令和5年10月27日下條村にて

著作



「喜平さ“がつくった奇跡の村”
幻冬舎 2017年／子育て世代への村営マンションづくり、役場職員の意識改革とスリム化、村人たちの手による道路づくり…。峰竜太の故郷・長野県下條村を、過疎の村から「子どもの声が響く村」へと導いた村長・伊藤喜平の奮闘を紹介する。
*N318ミ

新刊



「西部警察 PERSONAL6」
青志社 2023年／西部警察で兼子仁を演じた五代高之、桐生一馬を演じた加納竜、平尾一兵を演じた峰竜太の秘蔵写真228点を一挙公開。石原プロの流儀なども紹介。*778セ

下條村読書月間のお知らせ

11月18日(土)～12月17日(日)は下條村読書月間です。村の図書館では、おたのしみ会等のイベントや、古本市、企画展などを開催します。また、小学校・中学校でも、期間中読書旬間を開催しています。ぜひ、お出かけください(^^)

11月23日(木)は祝日開館しています。文化の祭典では、秋のおたのしみ会「はいくであそぼう」で詠んだ俳句を短冊に書いて展示の予定です。

【新着DVD情報】

<洋画>

- 「ハリー・ポッター20周年記念 リターン・トゥ・ホグワーツ」
- 「ジュラシックワールド 新たなる支配者」
- 「アバター ウェイオブウォーター」
- 「ブラックパンサー」
- 「ブラックフォン」
- 「ザ・ホエール」
- 「NOPE」
- 「丘の上の本屋さん」
- 「インターステラー」
- 「エンパイア・オブ・ライト」

<アニメ>

- 「ミニオンズフィーバー」
- 「バッドガイズ」ほか

十一月十五日には「読書月間おすすめ本リスト&新刊カタログ」を発行します。

古本市 (3回に分けて開催)

- 1回目 11月18日(土)9:30
- 2回目 11月25日(土)9:30
- 3回目 12月2日(土)9:30

古本や雑誌などを、ロビーに上記の3回に分けて出します。ご自由にお持ちください。

*自分の古本を出したいという方は、事前に図書館までご連絡ください。

読書月間特別企画&おたのしみ会

- ① 12月9日(土)10:00～17:00
「本を借りたら包丁研ぎサービス」
研ぐ人:堀尾伸夫さん(小松原)
- ④ 12月17日(日)13:30
「本日開店!冬のシネマカフェ」
講師:細田剛さん(合上)

雑誌の付録プレゼント!(^^)!

読書月間中、本を借りるたびに雑誌の付録が当たるかもしれない応募券に応募できます!毎年200人近くの方が当選しています。本を借りて応募しよう!